

平成23年度病害虫発生予報第5号(8月予報)

<お知らせ> マンゴー果実の軸腐病防除に関するコラムがあります(本号8頁参照)。
平成23年3月末をもって、北部駐在は閉所となりました。

今月のトピックス

ミツユビナミハダニ (ナス)

学名 : *Tetranychus evansi*



被害葉

生態と被害

ミツユビナミハダニは、ナス科植物の重要害虫である。南アメリカ起源とされ、北アメリカ、ヨーロッパやアジアなど、世界各地に分布を拡大している。国内では近年、関東以西の都府県で分布が確認されている。県内では、平成20年に伊良部島のナス科雑草から確認され、現在沖縄島、石垣島でも確認されており、他島への分布拡大が警戒されている。

体色は、雌はくすんだ淡橙～濃橙色、雄は白～淡橙色である。体長は、雌成虫で0.6mm前後、雄で0.5mm前後である。休眠性は持たない。*Tetranychus* 属(ナミハダニ属)の中でも非常に高い増殖能力を持つ。

本種は、ナスやトマトなど、ナス科作物の葉上に寄生する。寄生箇所を著しく白化させ、高密度になると植物を枯死させることもある。県内においては、ナス科雑草のテリミノイヌホオズキからの発見事例が多い。

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

平成23年7月29日
沖縄県病害虫防除技術センター